

◆ 今週のコメント

- ・ 第33週(8月13日～8月19日)はお盆を含む週で、定点当たりの報告数が全体に少なくなっています。
- ・ 百日咳の報告は、1例(20～29歳)で、本年の累積報告数は24例となっています。過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(9～19例)と比較して、本年は、最も多くなっています。
- ・ レジオネラ症の報告が1例あります。本年の累積報告数は11例で、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(0～4例)と比較して、本年は最も多くなっています。性別は男10例、女1例で、年齢は38～93歳で、そのうち60歳以上が8例となっています。推定感染経路は、水系感染3例、土壌感染1例、不明7例です。また、全国でも報告数は増加しており、本年の32週までの累積報告数は382例で、平成18年の同時期までの報告数221例を上回っています。
- ・ アメーバ赤痢の報告が1例あります。本年の累積報告数は14例で、病型別にみると、腸管アメーバ症12例(女3例、男9例)、腸管外アメーバ症2例(ともに男)です。年齢は24～72歳で、そのうち40歳以上が11例となっています。また、推定感染経路は、経口5例、不明8例、性行為感染1例です。推定感染地域は、国内10例、海外3例、その他1例です。

◆ 今週のトピックス:< Dengue熱 >

- ・ 本年2例目の Dengue熱の報告があります。平成11年4月以降からの累積報告数は8例で、推定感染地域は全て海外となっています。全国の平成16年以降の状況でも、全て海外で、特にアジア諸国からの報告が多くを占めており、感染時期は、8～9月に多くなっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・ 今週の麻しん全数発生報告は1例です。5月25日から始まった市内全医療機関からの麻しん発生件数(成人麻しんを含む。)については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 12例(肺結核 11例、その他 1例)(第30・31・32週追加分を含む)
- ・ 四類: Dengue熱 (Dengue熱) 1例
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68、小児科定点41、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.41	99
	② ヘルパンギーナ	0.54	22
	③ 流行性耳下腺炎	0.24	10
	④ 手足口病	0.22	9
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.17	7
	⑤ 水痘	0.17	7
眼科	⑤ 突発性発しん	0.17	7
	流行性角結膜炎	0.40	4

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
コクサッキーウイルスA10型(1)	ヘルパンギーナ(第29週)	RSウイルス(1)	かぜ症候群(第30週)
ポリオウイルス1型(1)	感染性胃腸炎(第26週)	アデノウイルス1型(1)	感染性胃腸炎(第30週)

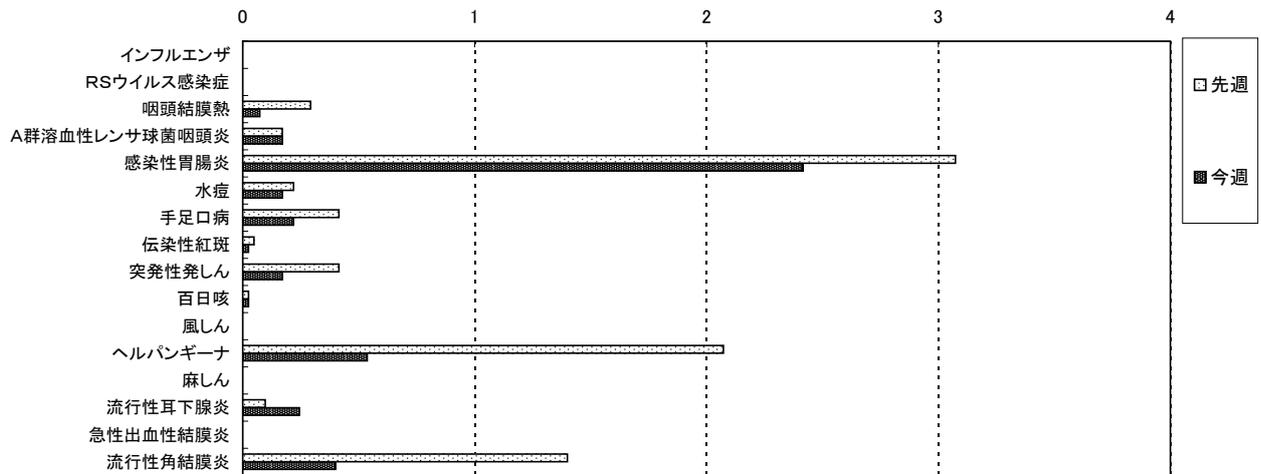
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:< Dengue熱 > / 京都市麻しん全数発生報告
付表(疾病、保健所別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

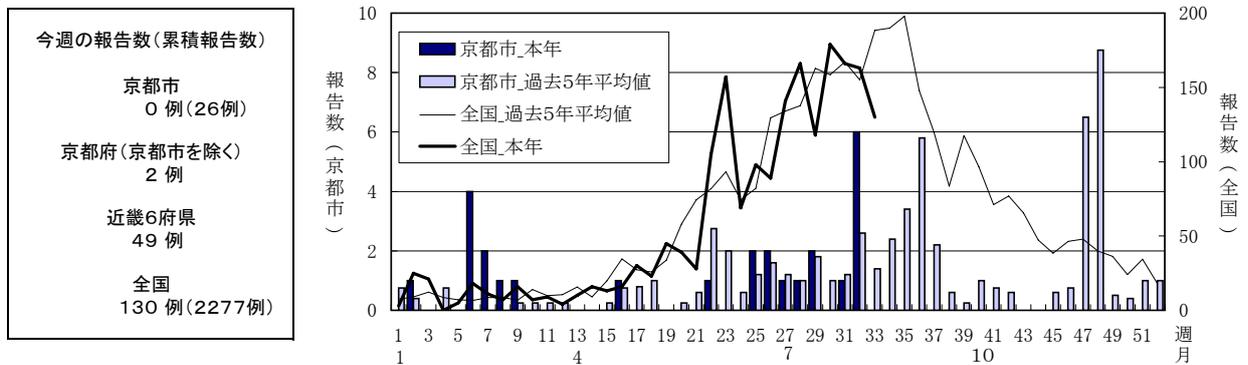
(注)京都市のデータは、平成19年8月23日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第33週)と先週(第32週)の定点当たり報告数の比較

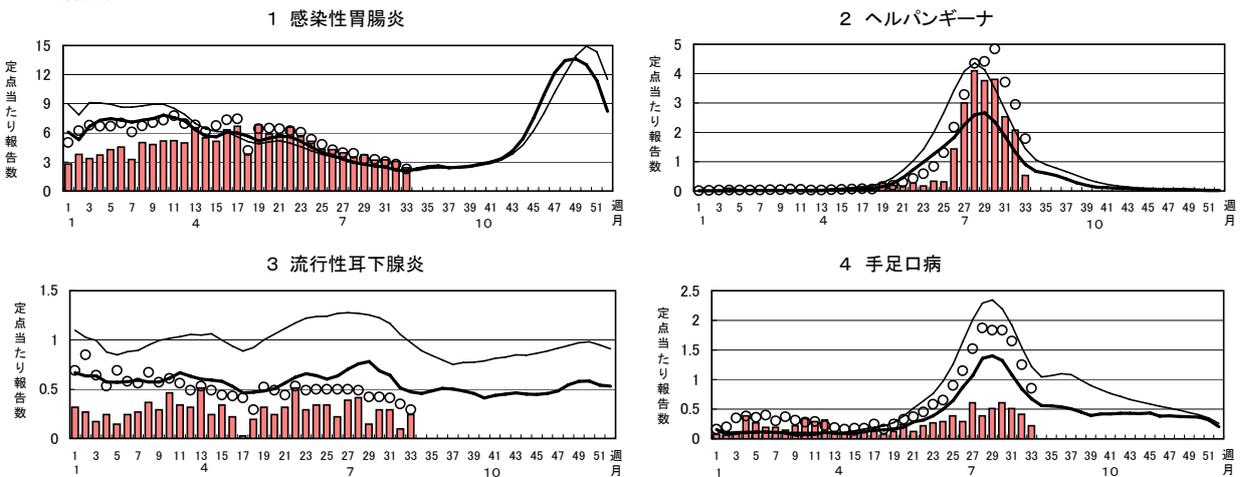


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

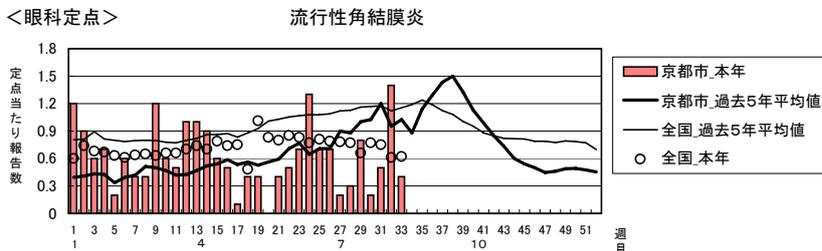


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第33週)のトピックス:< Dengue Fever >

本年2例目の Dengue Fever の報告があります。平成11年4月以降からの累積報告数は8例(男2例, 女6例)となっています。

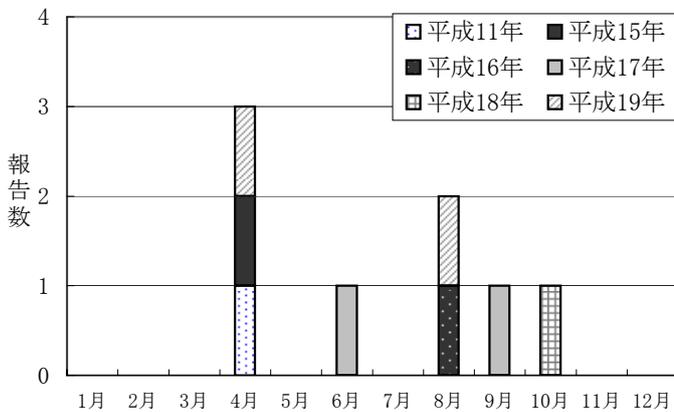
累積報告数(8例)を月別にみると, 4月が最も多く, 次いで8月となっています。推定感染地域は, 全て海外で, 7例がアジア諸国となっています。また, 年齢は, 20歳代(4例), 40歳代(3例), 19歳(1例)となっています。本市での Dengue Fever 出血熱の報告はありません。

全国の平成16年以降の状況をみると, 8~9月に患者の増加が認められ, 平成16年, 17年は特にその傾向が顕著となっています。推定感染地域は, 全て海外で, 本市と同様にアジア諸国からの報告が多くを占めています。年齢は, 20-24歳が最も多く, その後, 年齢の増加とともに減少傾向となっています。性別では, 男性の方が多く, また, Dengue Fever 出血熱も, 毎年数例あります。

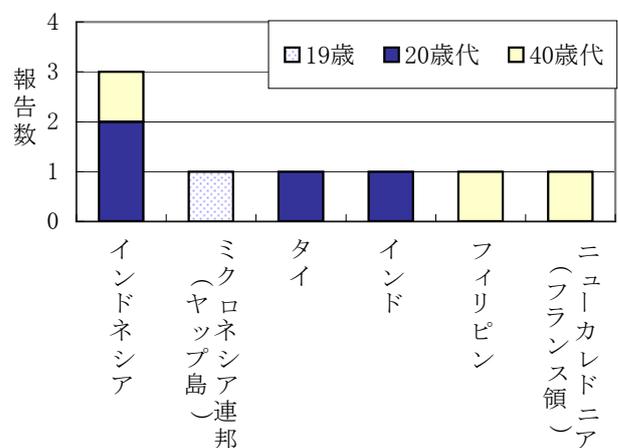
世界の Dengue Fever 流行の情報は, 国立感染症研究所ホームページ(<http://www.nih.go.jp/vir1/NVL/dengue.htm>)で公開していますので, ご参照ください。

なお, Dengue Fever を媒介するヒトスジシマカは, 国内に生息しており, 1942~45年に国内で媒介した例もあります。ウイルス血症期にある発熱中の患者が媒介する蚊に刺されないよう, 注意する必要があります。

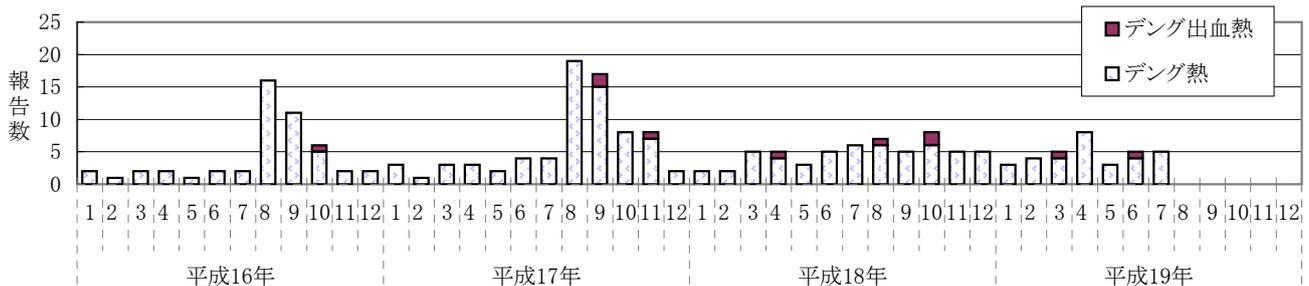
本市の月別発生状況 (n=8)



本市の推定感染地域別年齢別報告数 (n=8)



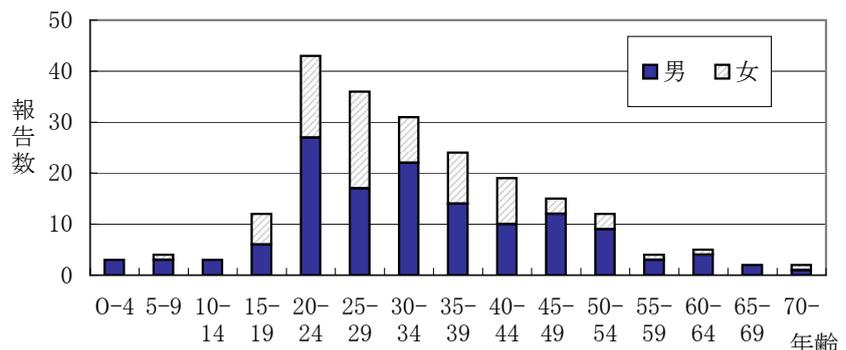
全国の Dengue Fever・ Dengue Fever 出血熱発生状況の推移



全国 推定感染地域別報告数

	平成16~18年	平成19年 (7月まで)
アジア	167	31
中東	1	0
オセアニア・南太平洋	11	1
中南米	4	3
アフリカ	5	0

全国 性別・年齢階級別報告数(平成16年1月~平成19年7月)



京都市麻しん全数発生報告

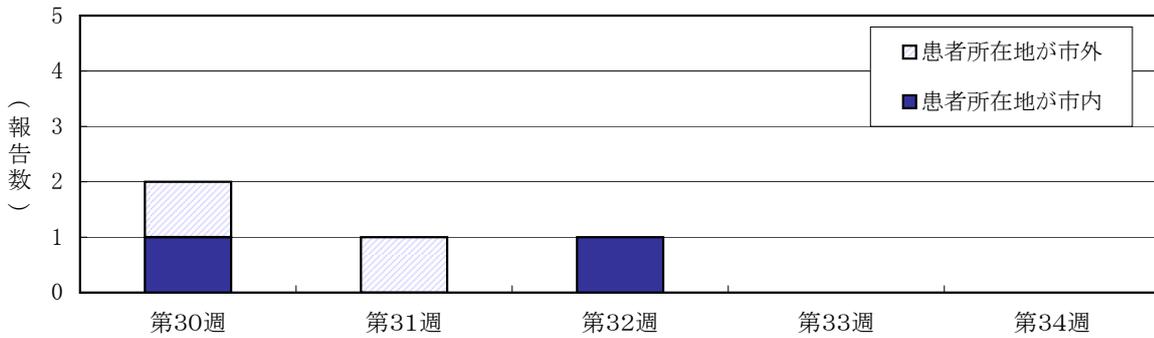
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から8月26日までの報告を初診週別に集計しています。

1 推移

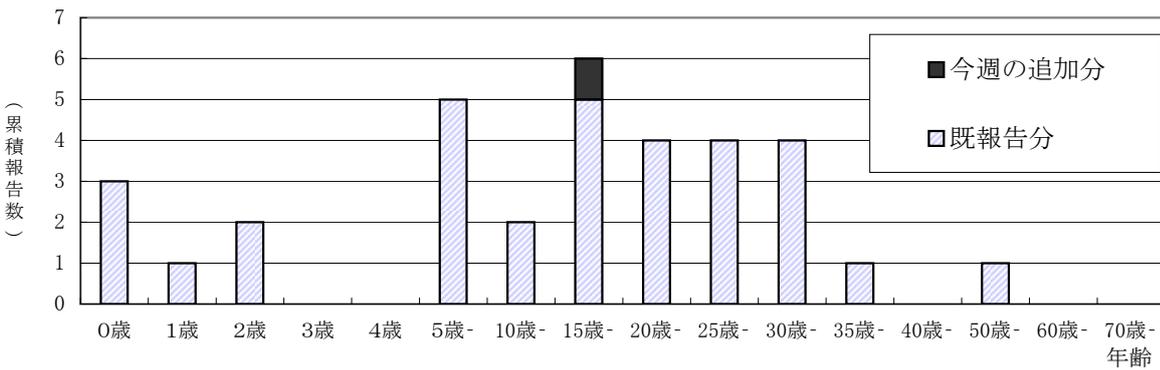
	初診週	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週	累積報告数 (第17週以降)
今週の追加分		1	-	-	-	-	1
既報告分		1	1	1	-	-	32
合計		2	1	1	-	-	33

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月~11ヶ月	3歳	10~14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第33週

疾病,保健所別報告数

平成19年8月13日～平成19年8月19日

データ入手日:平成19年8月23日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	11	2	1	1	2	-	-	9	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	1	3	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	9	1	3	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	3	3	19	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	4	14	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	3	7	99	7	9	1	7	1	-	22	-	10	-	4	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	-	0.50	-	0.25	-	-	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	1.25	-	0.25	-	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	3.67	0.67	0.33	0.33	0.67	-	-	3.00	-	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	16.50	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	0.25	0.75	0.25	-	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	1.80	0.20	0.60	-	-	-	-	0.40	-	0.20	-	2.00	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	2.71	-	0.14	-	0.29	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.43	0.43	3.50	-	-	-	-	-	-	0.50	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	1.00	2.41	0.17	0.22	0.02	0.17	0.02	-	0.54	-	0.24	-	0.40	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.07	0.17	2.41	0.17	0.22	0.02	0.17	0.02	-	0.54	-	0.24	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第33週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年8月13日～平成19年8月19日

データ入手日:平成19年8月23日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		3	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		99	4	12	16	10	8	9	6	8	4	3	7	6	1	5	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	1	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		9	-	-	2	2	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		22	-	3	4	5	3	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		10	-	-	-	2	3	2	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	-	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.17	-	-	0.02	-	-	0.07	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.41	0.10	0.29	0.39	0.24	0.20	0.22	0.15	0.20	0.10	0.07	0.17	0.15	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-
水痘		0.17	-	0.02	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.22	-	-	0.05	0.05	0.05	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.17	-	0.15	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.54	-	0.07	0.10	0.12	0.07	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.24	-	-	-	0.05	0.07	0.05	-	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.20	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第33週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年8月23日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)		-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		1	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		9	10	14	8	12	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		18	11	17	8	7	7
感染性胃腸炎		144	154	131	132	126	99
水痘		36	20	10	14	9	7
手足口病		16	21	25	21	17	9
伝染性紅斑		13	7	10	8	2	1
突発性発しん		24	23	18	13	17	7
百日咳		-	-	-	-	1	1
風しん		1	2	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		168	154	156	104	85	22
麻しん (※)		-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		17	6	12	12	4	10
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	8	2	5	14	4
細菌性髄膜炎 (※)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)		-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-
合計		450	416	395	325	294	170

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)		-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		0.02	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.22	0.24	0.34	0.20	0.29	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.44	0.27	0.41	0.20	0.17	0.17
感染性胃腸炎		3.51	3.76	3.20	3.22	3.07	2.41
水痘		0.88	0.49	0.24	0.34	0.22	0.17
手足口病		0.39	0.51	0.61	0.51	0.41	0.22
伝染性紅斑		0.32	0.17	0.24	0.20	0.05	0.02
突発性発しん		0.59	0.56	0.44	0.32	0.41	0.17
百日咳		-	-	-	-	0.02	0.02
風しん		0.02	0.05	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4.10	3.76	3.80	2.54	2.07	0.54
麻しん (※)		-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.41	0.15	0.29	0.29	0.10	0.24
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	0.80	0.20	0.50	1.40	0.40
細菌性髄膜炎 (※)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)		-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-
合計		11.20	10.75	9.79	8.30	8.23	4.45

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。